

循環型社会の形成に向けて

町では、平成17年2月に「笠松町行財政改革推進プラン」を策定し、平成17年度を行財政改革初年度として新しい笠松町に向けてスタートしました。

中でも、環境対策事業では、住民協働による循環型社会の形成に向け、ごみ処理の基本理念を、これまでの「リサイクル型」から、ごみの発生抑制（リデュース：Reduce）、再使用（リユース：Reuse）、再資源化（リサイクル：Recycle）の総合的な取り組みを推進する「循環型：3R」へと発展させます。

第1回資源ごみ集団回収モデル地区学習会を開催

平成17年度は「資源ごみの集団回収モデル地区」において、資源ごみ集団回収の実践活動を展開します。

3月30日(水)、中央公民館で第1回資源ごみ集団回収モデル地区学習会を開催し、モデル地区町内のみなさん約70名が参加しました。



意見を述べる参加者

学習会の冒頭6町内会（新町・西宮町・友楽町・緑町・下門間・中野）に、広江町長からモデル地区指定書が交付されました。

学習会では、町より廃棄物の現状等について説明を受けた後、意見交換が行われ、参加者の方からごみステーションの問題や、集団回収事業などについて多くの意見、提案がありました。

今後、モデル地区学習会が定期的で開催され各町内会での実践に基づく事例発表などをおして、より良い事業内容を模索し、早ければ18年度からの全町的な資源ごみ集団回収事業の実施を目指します。

廃棄物減量等推進員会議を開催

4月16日(土)、中央公民館で廃棄物減量等推進員会議が開催され、会議の冒頭204人の皆さんに広江町長から委嘱状が交付されました。

推進員の皆さんには、17年度から始まる環境対策事業である「廃棄物減量化・資源化・リサイクル化」の様々な施策や、地域でのごみ問題に対しリーダー的な役割と、町と住民の皆さんとのパイプ役として、協力していただきます。

廃棄物減量等推進員の活動に対し、町民の皆さんのご協力をお願いします。



委嘱状の交付を受ける代表推進員

ゴミなくす まずはあなたの その手から

岐阜県第6回「ごみ対策」川柳コンテスト最優秀作品